

ゆったり
いいところ
おかがき

岡垣町ブランド戦略



令和5年3月 岡垣町



ブランド戦略が目指すもの

人口減少が進む中、持続可能なまちづくりを行うためには、
「岡垣町」という町の魅力・個性を明確にし、ブランドイメージを確立すること、
そのブランドイメージを発信することが大切です。

岡垣町を応援したい、岡垣町に行きたい・住みたいと思ってもらうこと。

岡垣町ならではの体験や暮らしを通して、町のファンを作ること。

共感や愛着を持ってもらえるような町であり続けること。

岡垣町ブランド戦略では、設定したブランドイメージを体現しながら、

町内外の皆さんに魅力を発信し続けます。

ゆったり

いいとこ

おかがき



目次

1	岡垣町ブランド戦略立案の狙い	1
2	コアターゲット	7
3	まちの魅力	10
4	ブランドテーマ	15
5	岡垣町ブランド戦略のこれから	17

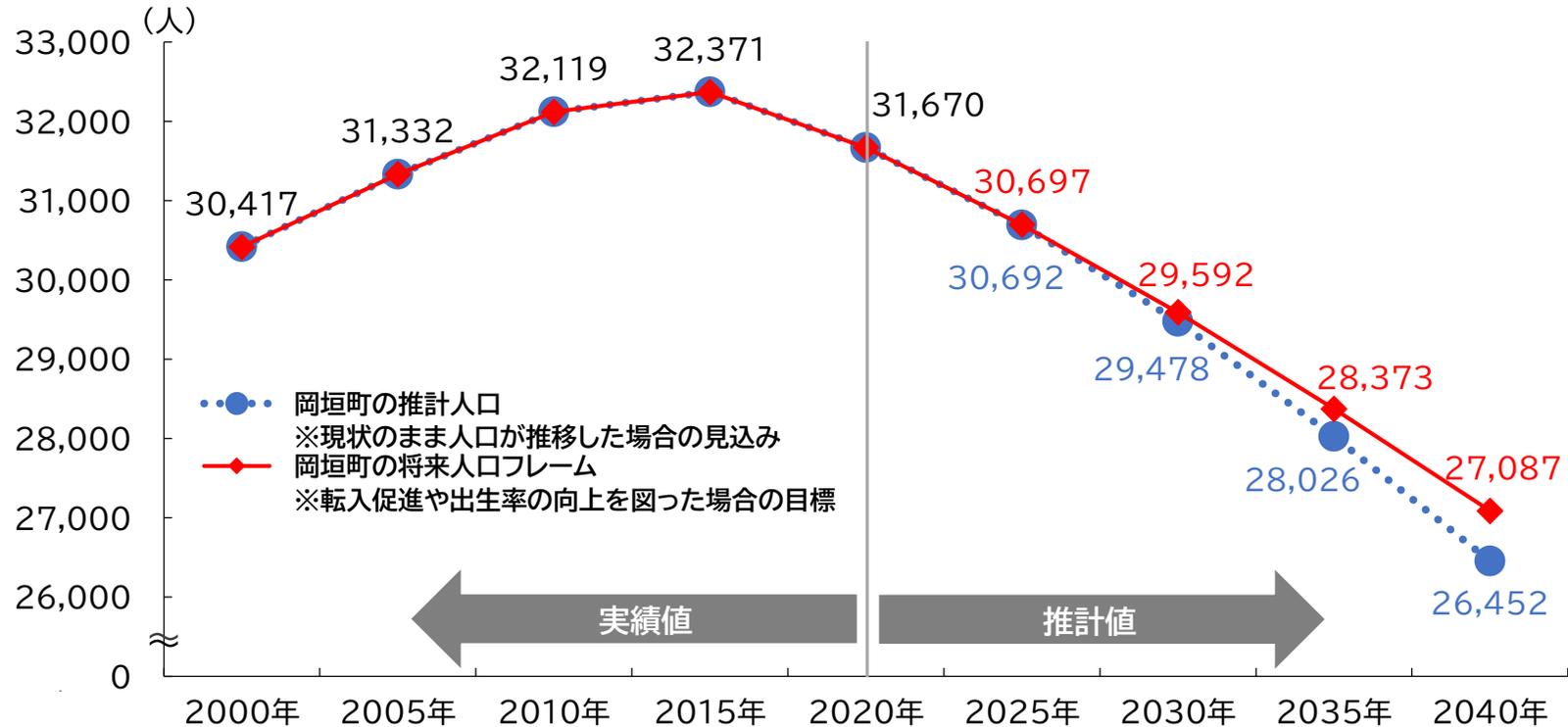
1

岡垣町ブランド戦略立案の狙い

なぜブランディングが必要か

今後、町の人口は減少傾向で推移すると推計されているため、持続可能なまちづくりが必要。

【岡垣町の将来人口推計と将来人口フレーム】



※1 2010年までは国勢調査人口、2015年と2020年は住民基本台帳に基づく実績値。2025年以降は住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計値

2 国勢調査人口は10月1日現在。住民基本台帳人口は3月末

(コーホート変化率法による推計)

コーホート変化率法とは、コーホート(集団)ごとの5年間の人口増減を変化率としてとらえ、その率が将来も大きく変化しないものと推計する方法です。0~4歳の人口は、15~49歳の女性人口との比率により推計としています

まちの課題

- 産業振興・観光振興による
地域経済の活性化
- 安心できる子育て環境や
生活環境の提供
- 効果的な情報発信
(町内外の人に届ける力)

ブランディングの意義

地域資源を生かし、
町の魅力・個性を明確にする
町づくりと体験を発信することで、
↓
関係・交流人口を増やす。
↓
住みやすさと誇り・愛着形成により
移住・定住人口を増やす。

「まちの未来計画」に沿った
「岡垣ブランディング」

ブランド観点でのまちづくりと魅力発信の指針(具体的アイデア)を示す。

「地域資源」を生かした
岡垣ならではの「体験」の発信

都市圏居住者の興味・共感を引き出し、

関係・交流人口を増やすと同時に、

町への愛着を創ることで

移住・定住人口を増やす。

狙い

「自然と共生する しあわせ実感都市」(まちの未来計画)に沿った町オリジナルの「体験」の発信

戦略立案視点

【生活者発想】

しあわせとは、誰のどのような期待願望なのか？

【強み発想】

その期待願望に、他市町村にない、地域資源を活用してどのように応えることができるのか？
岡垣町の「真の強み」は何か？中核になる資源は何か？

【価値発想】

生活者の期待に応えて、岡垣町だけが提供することができる価値は？

【オリジナルの体験設計】

どのようなことが「体験」できるのか？

- ①ブランディングの意義を共有した上で、
- ②町がもつ魅力や強みは、③誰のどのような期待願望を捉えることができるのかを明らかにし、
- ④町が発信する独自の価値をテーマ化・メッセージ化する。
- ⑤その上で施策方針(アイデア)を導く。

1. WHY

なぜ町のブランディングが必要なのか？

2. WHAT

岡垣町がもつ魅力・強み

岡垣町がもつ資源の洗い出し
他市町村とは異なる強み

4. THEME

人々(ターゲット)の心を
捉える、岡垣町ならではの
提供価値、テーマ

3. WHOM

想定ターゲット／PR対象者

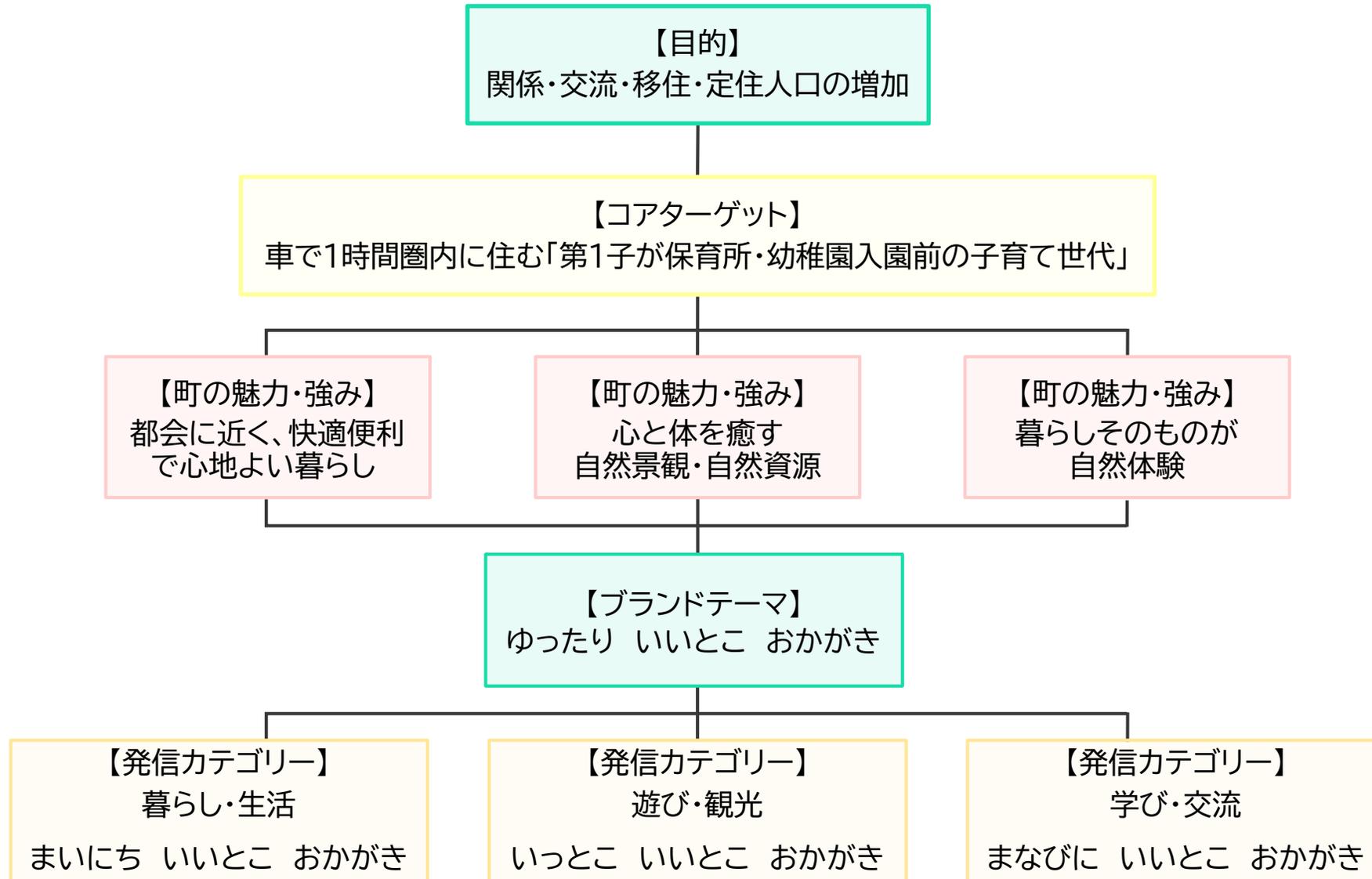
岡垣町がもつ魅力は
誰のどのような
期待願望に応える
ことができるか

5. HOW

ブランディング視点での町づくり指針(政策や活動の方向性)

PR施策立案の視点 (岡垣町オリジナルの体験)

ブランド戦略の体系図





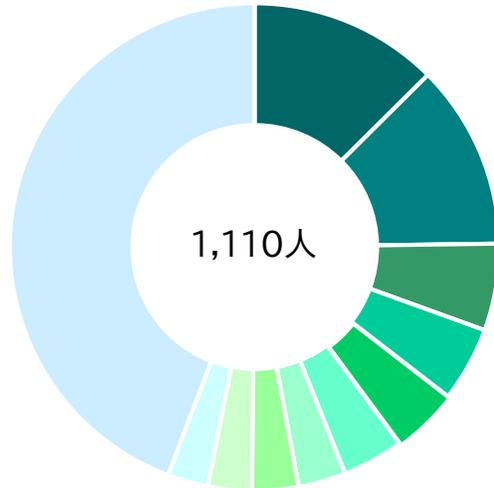
2

コアターゲット

岡垣町の転入・転出の状況

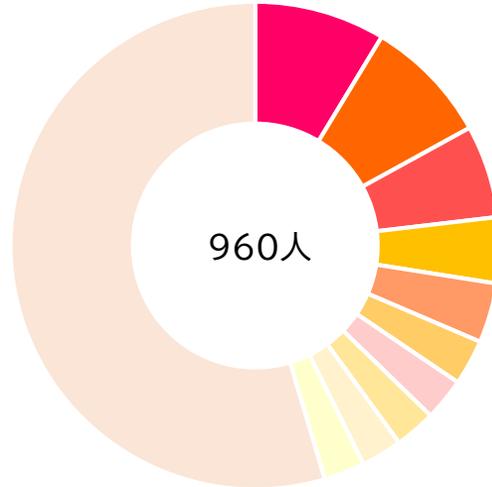
現状、岡垣町は近隣市区町から人口が流入。福岡市へ人口が流出。

転入数(2021年)



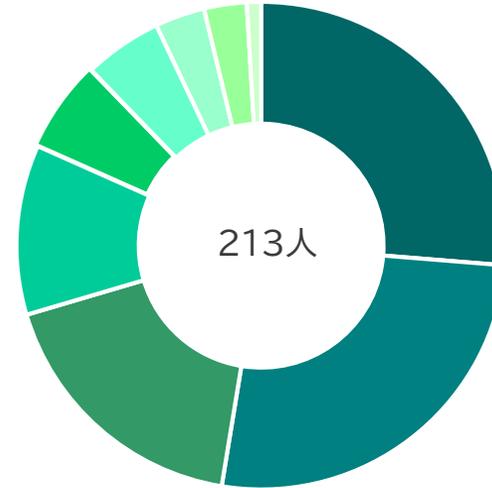
1位	北九州市八幡西区	139人
2位	宗像市	136人
3位	北九州市若松区	64人
4位	遠賀町	55人
5位	水巻町	49人
6位	福津市	45人
7位	芦屋町	35人
8位	福岡市東区	34人
9位	中間市	32人
10位	古賀市	30人
	その他	

転出数(2021年)



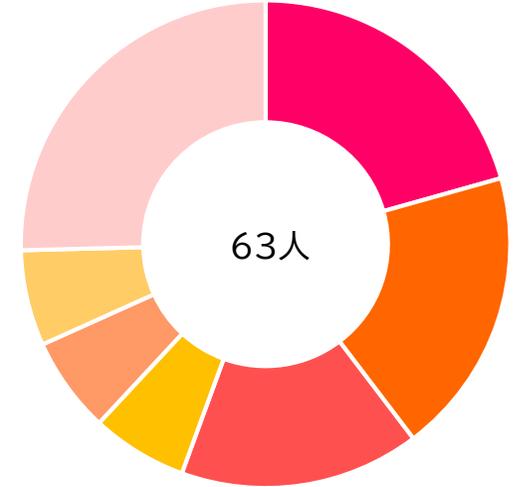
1位	北九州市八幡西区	83人
2位	宗像市	80人
3位	遠賀町	59人
4位	水巻町	42人
5位	福岡市東区	38人
6位	芦屋町	29人
7位	福岡市博多区	26人
8位	福岡市中央区	26人
8位	北九州市小倉南区	26人
8位	北九州市若松区	26人
	その他	

転入超過数(2021年)



1位	宗像市	56人
1位	北九州市八幡西区	56人
3位	北九州市若松区	38人
4位	福津市	24人
5位	古賀市	13人
6位	北九州市小倉北区	11人
7位	水巻町	7人
8位	芦屋町	6人
9位	福岡市南区	2人

転出超過数(2021年)



1位	北九州市小倉南区	13人
2位	福岡市博多区	12人
3位	福岡市中央区	11人
4位	遠賀町	4人
4位	北九州市戸畑区	4人
4位	福岡市東区	4人
7位	その他	16人

【出典】総務省住民基本台帳人口移動報告(RESASより引用)

岡垣町の転入の状況

ファミリー世帯の転入は、近隣市区町からが多い。

ファミリー世帯の転入状況
(2021年度)

1位 宗像市	20世帯
2位 北九州市八幡西区	14世帯
3位 遠賀町	10世帯
4位 福津市	9世帯
5位 水巻町	8世帯

【出典】おかがきPR課調べ
注:ファミリー世帯とは、0~12歳の第1子が
いる世帯をいいます。



車で1時間圏内に住む「第1子が保育所・幼稚園入園前の子育て世代」

子どもが、もうすぐ保育所（幼稚園）に入園。

子どもが小学校に上がるまでには家を建てたいから、そろそろ場所を決めないと。

仕事のことを考えると、今の家からそんなに遠くなく、北九州市や福岡市に近くて便利なところが良いけど、日々の生活は程よい自然の中でストレスなく過ごしたい。

子どもにも、自然がそばにある暮らしの中で、生きる力や考える力、感性を育ててほしい。

暮らしがまるごと自然と一緒に。そんな場所を探したいな。

ブランド戦略では、こんな希望をもつ皆さんに、岡垣町ならではの魅力を提案します。

3

まちの魅力

まちの魅力

都会に近く、快適便利で
心地よい暮らし



心と体を癒す
自然景観・自然資源



暮らしそのものが
自然体験



都会に近く、快適便利で心地よい暮らし

J R鹿児島本線の沿線で、2本も国道が通ってる。通勤・通学・休日のお出かけにも便利かも。
今日のお出かけは、電車と車どっちにしよう



コンパクトな町の中には、スーパーにホームセンターに直売所、医療施設が充実。
生活に必要なものがいつでも手に入るって便利



水道水の約85%が地下水。蛇口をひねればおいしい水が出るっていいよね。
100年の時間をかけてろ過された地下水が、暮らしのそばにある



中心市街地から数分で広がる海と山。
自然が仕事の疲れを癒してくれる。ゆったりおだやかに暮らせそう



心と体を癒す 自然景観・自然資源



町北部に広がる響灘。

砂浜に座って、ただ海を眺めるだけの時間がぜいたく。波の音が心と体を癒す



満開の桜の道を抜けた先に広がるのは、海や町を一望できるお花見スポット。
心地よい春風が吹く中、桜の花びらと香りで心と体を癒す



駅のそばを流れる川では、初夏にホタルが舞う姿が。

一日の終わりに、ホタルの淡い光を見て心と体を癒す



運が良ければ、カワセミやアオバズクの姿が見えることも。

一日の始まりや日常のふとした瞬間に聞こえる鳥のさえずりが、心と体を癒す



空気が澄んだ日には、遠くに電車の音が聞こえるほどの静寂に包まれる夜。

見上げれば、無数の星。さながら、天然のプラネタリウム

暮らしそのものが自然体験



気が向けばすぐに行ける距離。家から海が近いってぜいたく。

サーフィン・釣り・サイクリングなどなど、遊び方は無限大。今日は子どもと波遊びでもしようかな

町に広がる田園風景。農業がそばにある暮らし。

田植えやビワの袋掛け授業などの体験で、子どもたちの生きる力を育む



びわ、巨峰、いちじく、いちご、みかん。春夏秋冬を通じて楽しめるフルーツ。

まるで、町全体が大きな果樹園

大切な町の恵みとふれあい、自然を生かした教育で、地域の自然や人のぬくもりを感じる。

それぞれの学校の魅力で、子どもたちの成長を育む



福岡市と北九州市の間にある、人口約32,000人の小さな町。

国道やJR鹿児島本線により、1時間程度で都会にアクセスできる環境。
生活に必要なあらゆる環境がそろっている、住み心地のよい町。

都会のすぐそばにありながら
海や山などの自然環境に恵まれ
その豊かな自然からもたらされる地下水、
四季折々の農作物や果物、
その中で育つ生き物たち、
温かい人たちの交流でゆったりとしながら
理想の暮らしができる町。

何にもないようで
必要なものがすべてそろっている。

4

ブランドテーマ



An aerial photograph of a town in a valley, surrounded by green mountains. The town features a mix of residential buildings and larger structures, including a prominent modern building with a curved roof in the foreground. A river or canal winds through the town, and a dam is visible in the middle ground. The sky is blue with some light clouds.

都会がすぐそばにある場所で

自然とつながり
学びも遊びも体験する。

何にもないようで、求めるすべてがここにある。

ゆったり
いいところ
おかがき

5

岡垣町ブランド戦略のこれから

都会に近く、快適便利で
心地よい暮らし

心と体を癒す
自然景観・自然資源

暮らしそのものが
自然体験

ゆったり いいところ おかがき
発信カテゴリー



まいにち
いいところ
おかがき



いっとこ
いいところ
おかがき



まなびに
いいところ
おかがき

まいにち いいところ おかがき

快適安心な生活を発信

- JRと2本の国道が通勤・通学を支える。
休日でも電車と車で気軽にお出かけ
- いろんな診療科目の病院があるから、
病気やケガのときに安心
- 保護者と子どもが楽しく暮らせるように。
安心して子育てできる環境

自然から元気をもらえる日常を発信

- 豊かな自然の恵みを受けて元気をもらう
- おいしい地下水を飲んで元気をもらう



いっこ いいところ おかがき

「自然の中で遊ぶ」を発信

- 暮らしのそばにある自然で遊ぶ
- 四季を楽しみながら遊ぶ

「体験」を発信

- 自然に触れるプログラムを体験する
- 町のいろいろなイベントを体験する



まなびに いいところ おかがき

「岡垣っ子の学び」を発信

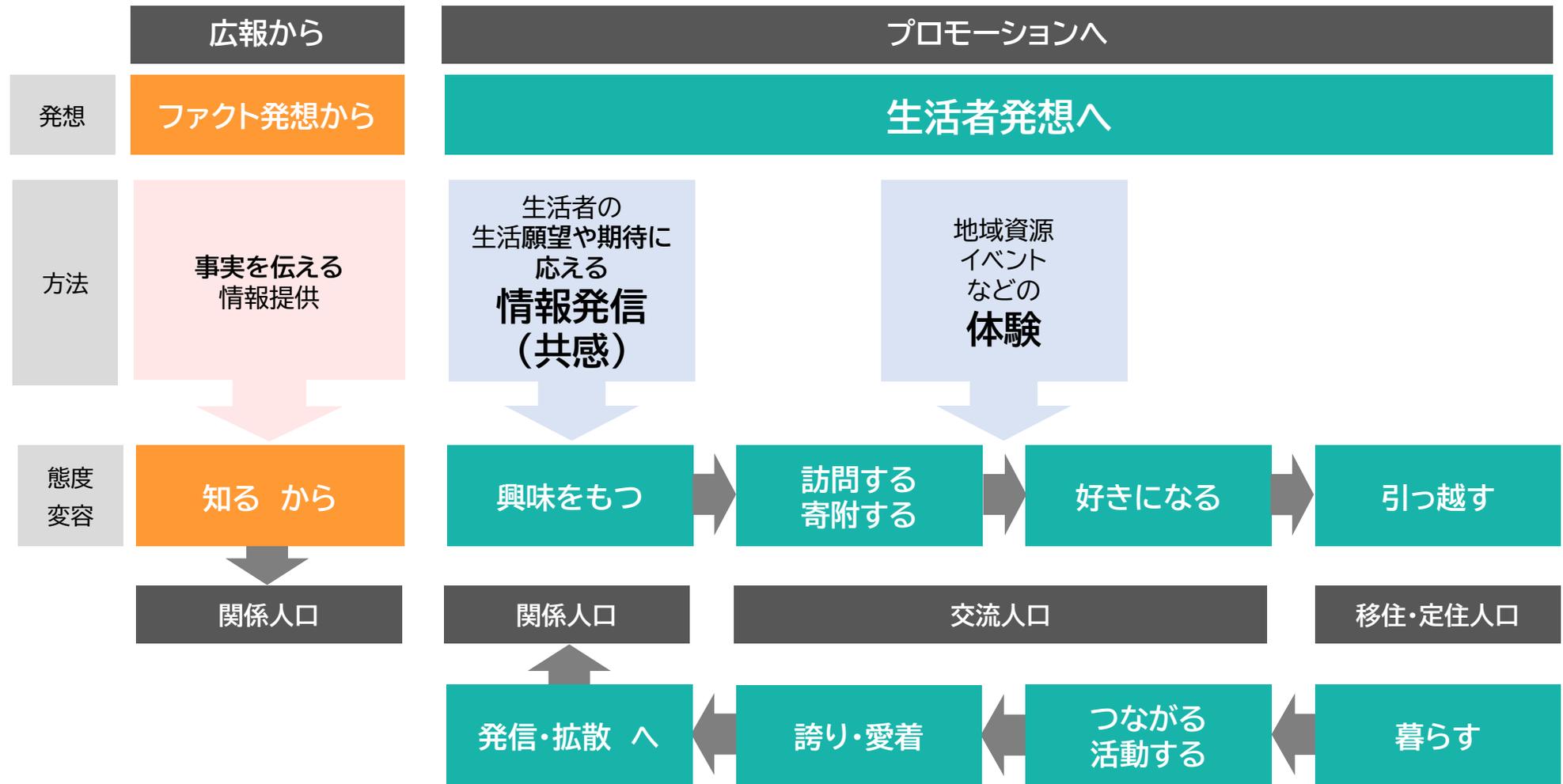
- 子どもの個性や能力を伸ばす教育
- 岡垣らしい学びを取り入れた授業
- 学びを支える豊かな給食

「豊かな心・生きる力を育む」を発信

- ふるさとの良さにふれる体験
- スポーツや文化活動で心と体を育む
- 週末や夏休みに体験学習にチャレンジ



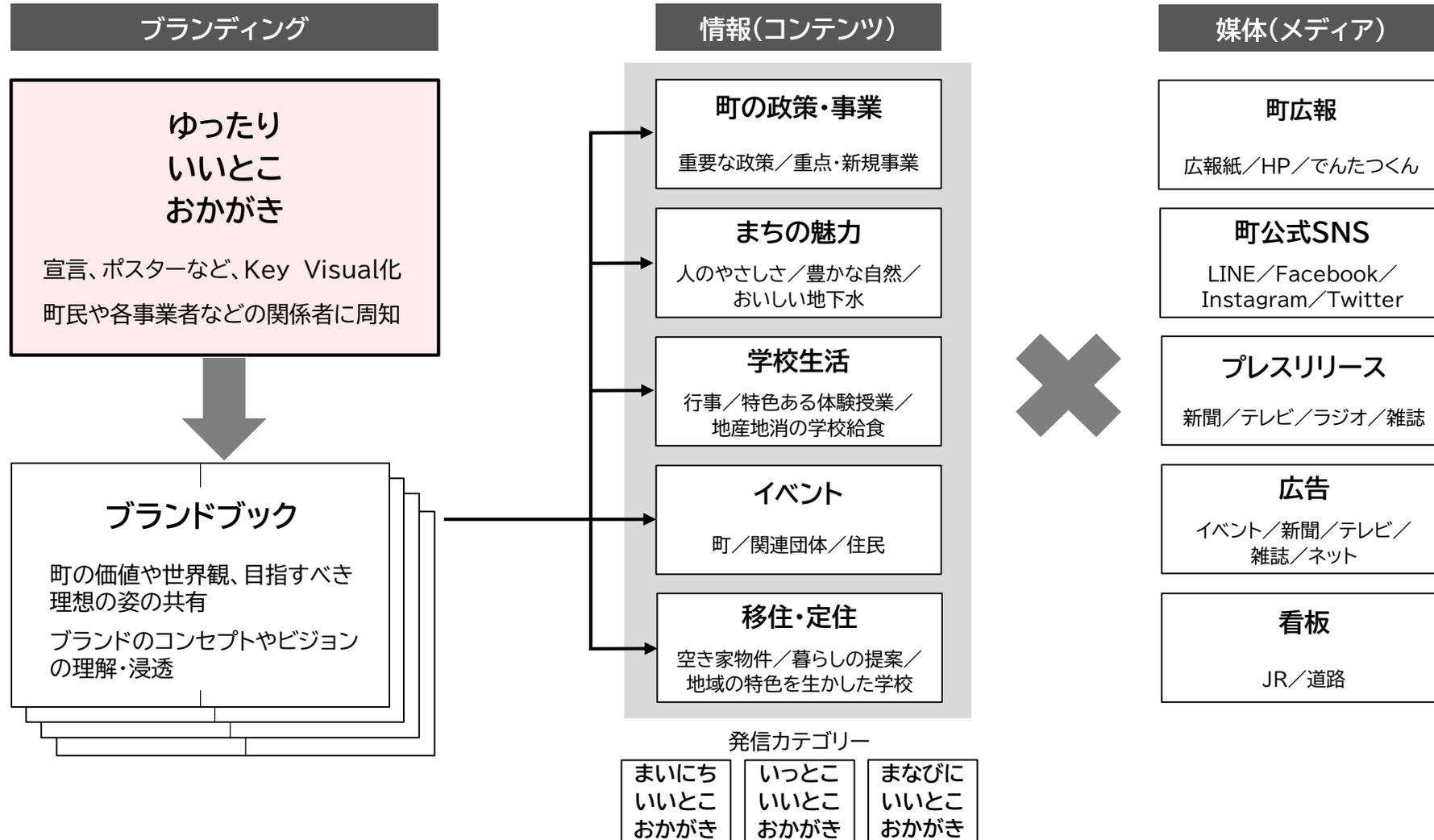
広報PRの発想を変える



ブランド観点(町の個性の明確化)で
観光振興～産業振興～暮らしやすさ向上～定住促進～交流促進などを“統合”した、町の魅力づくり・魅力発信を計画する。

今後の情報発信

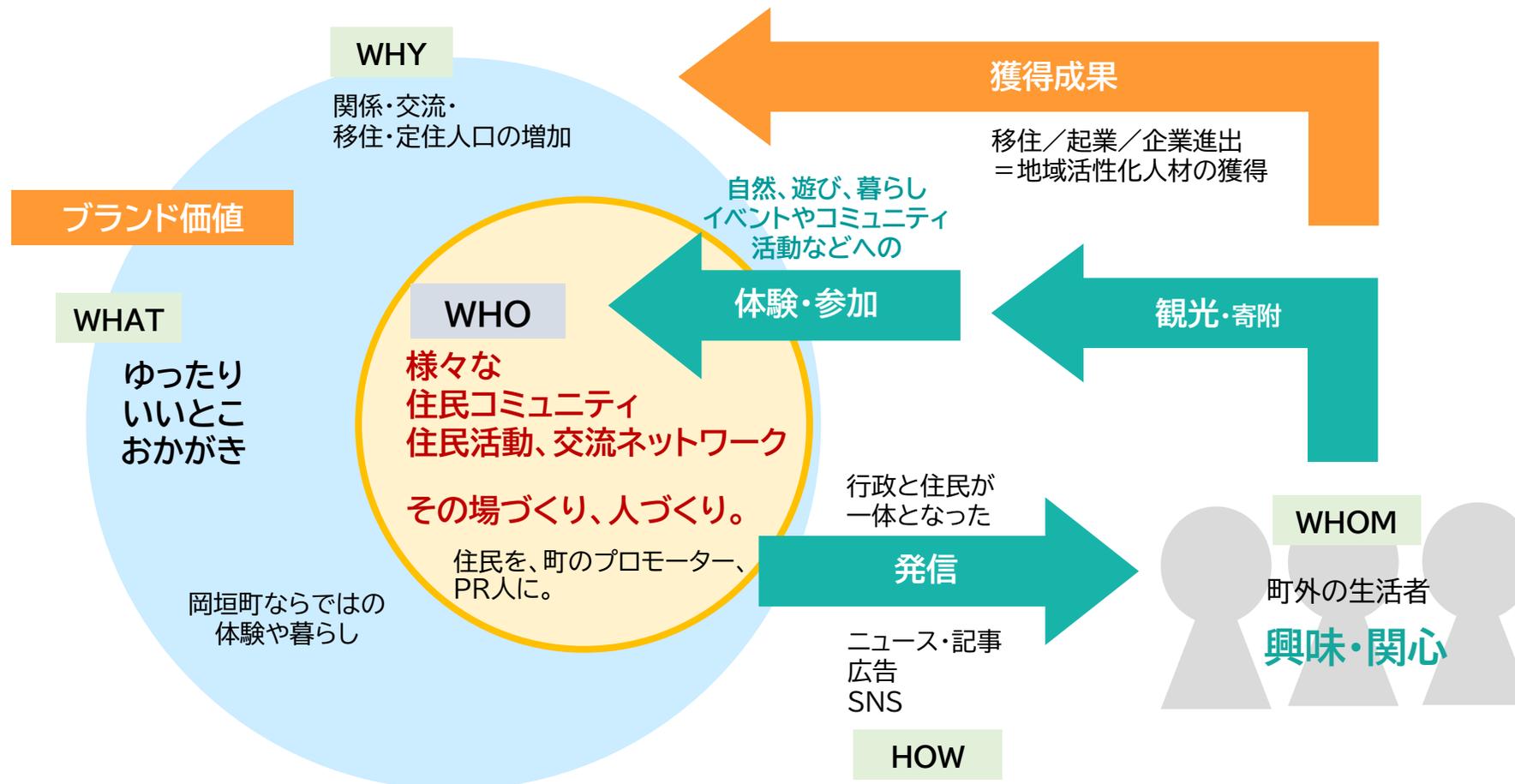
「ゆったり いいところ おかがき」の思想をすべての関係者が共有・徹底して、各種媒体を通じて情報を発信する。



プロモーションの仕組み

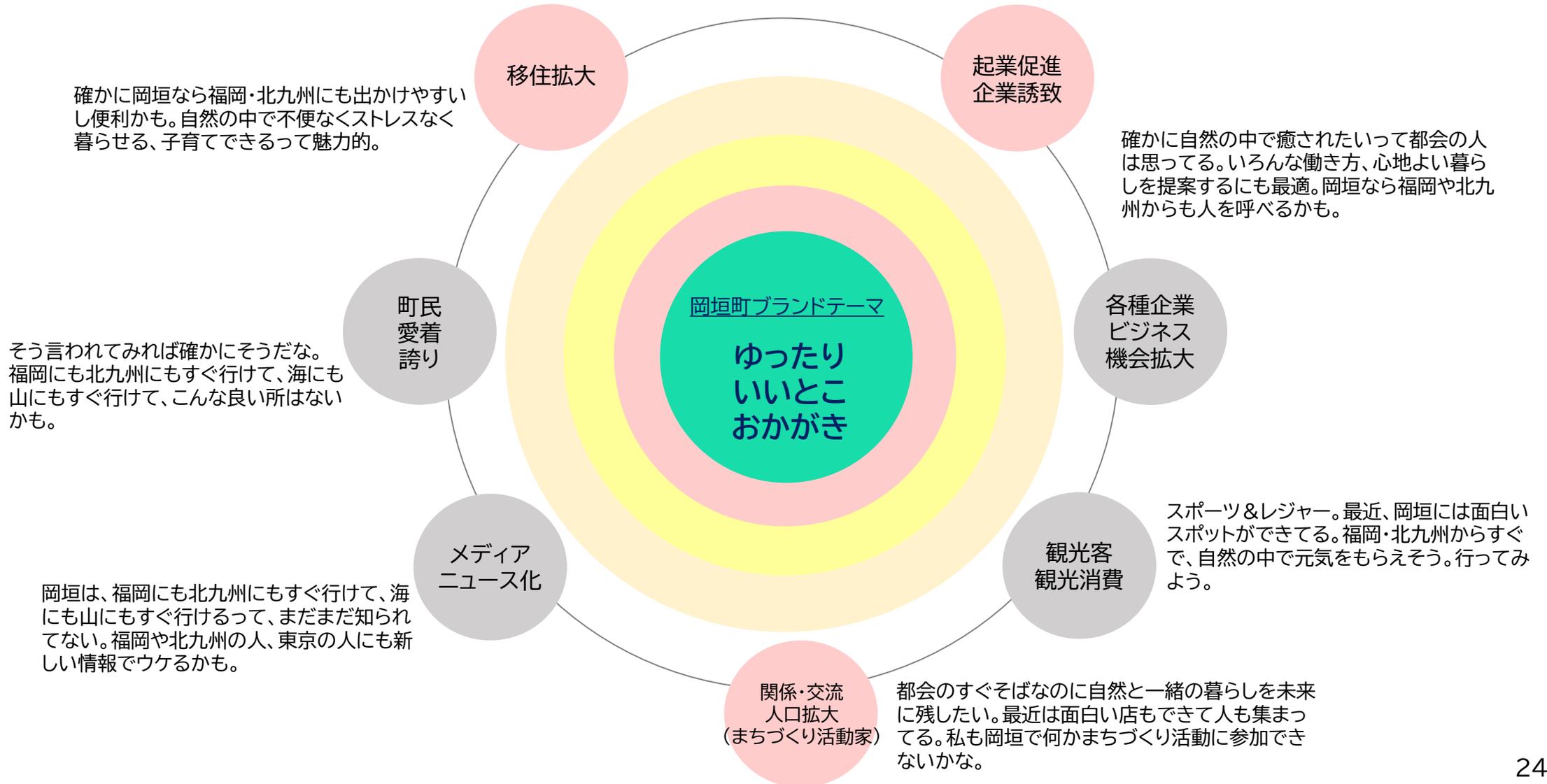
これからのブランディングは、住民を、町のプロモーター、PR人にすることが重要。

住民が「活動・体験」を創出し、参加・体験した住民・来訪者が「発信」することが、プロモーションの鍵に。
行政の役割は、住民活動の場づくり、交流支援。地域活性化人材の獲得と育成。



ブランド戦略による関係者の態度変容

ブランド戦略の推進により、岡垣町に対するイメージの変化が期待される。



2023年3月

編集

まちの魅力を語る会

大堂 卓哉
奥寺 優美子
尾前 実香
金澤 麻衣
小滝 佳史
眞山 昌
藤川 諭志
秋武 重成
中村 光良
山住 美幸



発行

福岡県遠賀郡岡垣町

〒811-4233 福岡県遠賀郡岡垣町野間1丁目1番1号

TEL 093-282-1211

HP <https://www.town.okagaki.lg.jp/>

策定経過

令和4年 6月 第1回まちの魅力を語る会

・町のブランディングの必要性

7月 第2回まちの魅力を語る会

・想定ターゲット／PRする対象者

第3回まちの魅力を語る会

・岡垣のブランドテーマとステイメント

8月 第4回まちの魅力を語る会

・町づくり指針と施策アイデア

第5回まちの魅力を語る会

・岡垣のブランドテーマとステイメント

・町づくり指針と施策アイデア

・プロモーションと情報発信の仕組み

11月 第6回まちの魅力を語る会

・岡垣町ブランド戦略について

12月 第7回まちの魅力を語る会

・岡垣町ブランド戦略の概要について

令和5年 2月 第8回まちの魅力を語る会

・岡垣町ブランド戦略素案について

第9回まちの魅力を語る会

・岡垣町ブランド戦略案について